

# Mercury-ONE バージョンアップ編 目次

バージョンアップ時には、プロテクトの更新または書き換えの後に、最新プログラムにバージョンアップします。

## プロテクトの更新または書き換え をおこないます ..... 1

- 1 ネット認証ライセンス(占有)の更新..... 2
- 2 ネット認証ライセンス(共有)の更新..... 3
- 3 ネット認証ライセンス(LAN)の更新..... 4
- 4 USBプロテクト【SNS-W】の書き換え..... 6
- 5 USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え..... 7
- 6 プロテクト Q&A ..... 8

## Mercury-ONE を バージョンアップします ..... 13

- 1 インストール方法を確認します ..... 14
- 2 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順 ..... 15
- 3 「サーバークライアント (共同編集あり)」の  
バージョンアップ手順 ..... 18
- 4 「サーバークライアント (共同編集なし)」の  
バージョンアップ手順 ..... 24
- 5 フリーフォーマットを追加します ..... 29

## FCアカウントでプログラムを更新することもできます

本書では「インストールDVD」を利用したプログラムの更新手順を解説していますが、「FCアカウント」を利用して、最新プログラムに更新することもできます。

※「**プログラム保守**」をご契約のお客様専用のサービスです。

FCアカウントの「インストール・バージョンアップ」を開きます。  
「ライセンスの更新」を行った後、「最新版プログラム」から、プログラムをインストールしてください。

# セットアップの前に確認してください



Check

## セットアップ時の権限について

プロテクトおよび各プログラムをセットアップする場合は、Administrators グループに所属しているユーザーや、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンする必要があります。



Check

## セキュリティソフトによる警告について

お使いのセキュリティソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。警告が表示された場合には、セキュリティソフトなどの常駐プログラムを終了してから、セットアップをおこなってください。



Check

## データのバックアップをおこなってください

セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

# プロテクトの更新または書き換えをおこないます

オプションプログラムの追加購入時や、プログラムのバージョンアップ時には、まず「ネット認証ライセンスの更新」または「USBプロテクトの書き換え」をおこないます。

各ページを参照して、ご利用されているプロテクトの更新/書き換えをおこなってください。

1. ネット認証ライセンス(占有)の更新 .....	2
2. ネット認証ライセンス(共有)の更新 .....	3
3. ネット認証ライセンス(LAN)の更新 .....	4
4. USBプロテクト【SNS-W】の書き換え .....	6
5. USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え .....	7
6. プロテクト Q&A .....	8

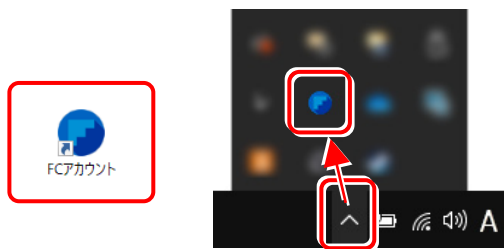
# 1 ネット認証ライセンス(占有) の更新

「ネット認証ライセンス(占有)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

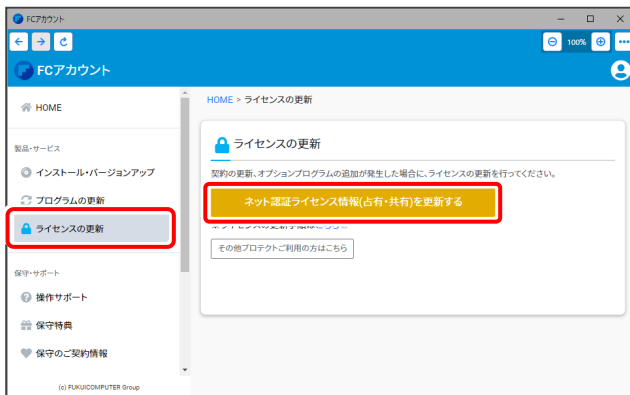
- ※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。
- ※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

## Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



FCアカウントが表示されます。  
[ライセンスの更新]の[ネット認証ライセンス情報(占有・共有)を更新する]をクリックします。



### FCアカウントを使用していない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。

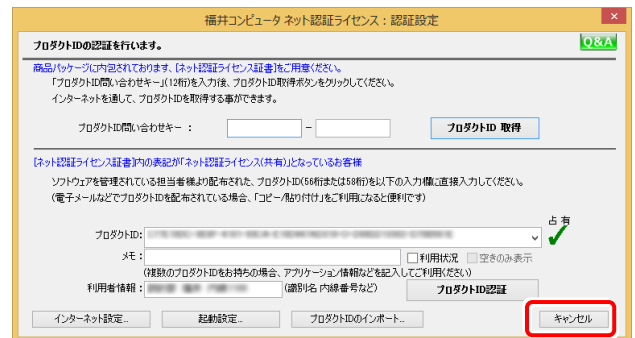


2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

「ネット認証ライセンス: 認証設定」画面(下画面)が表示された場合は

プログラムの起動時にライセンス情報が自動更新されますので、更新の必要はありません。

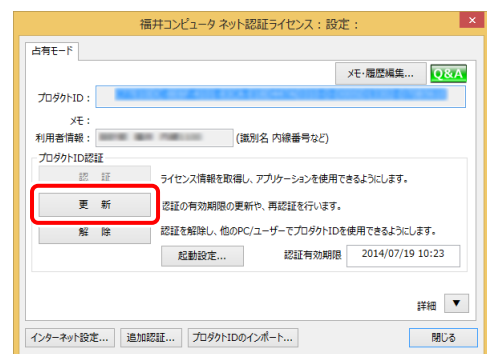
[キャンセル] ボタンを押して画面を閉じてください。



「ネット認証ライセンス: 設定」画面(下画面)が表示された場合は

手動でライセンス情報の更新が必要です。

[更新] ボタンを押して、ライセンス情報を更新してください。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

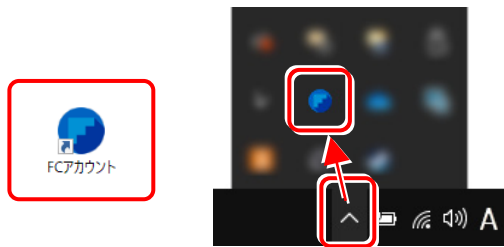
## 2 ネット認証ライセンス(共有) の更新

「ネット認証ライセンス(共有)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

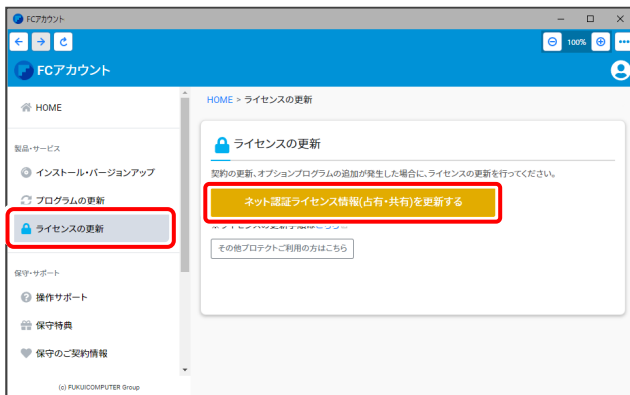
- ※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。
- ※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

### Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



FCアカウントが表示されます。  
[ライセンスの更新]の[ネット認証ライセンス情報(占有・共有)を更新する]をクリックします。

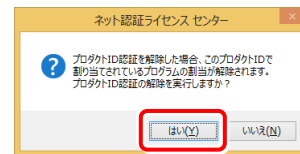
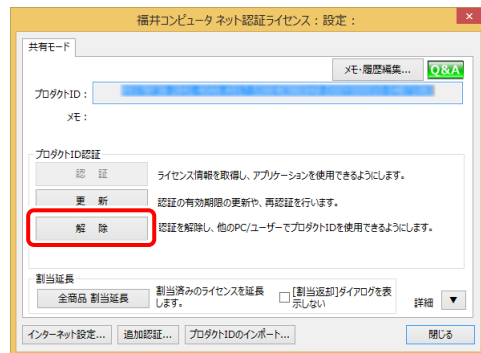


#### FCアカウントを使用していない場合は

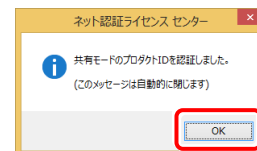
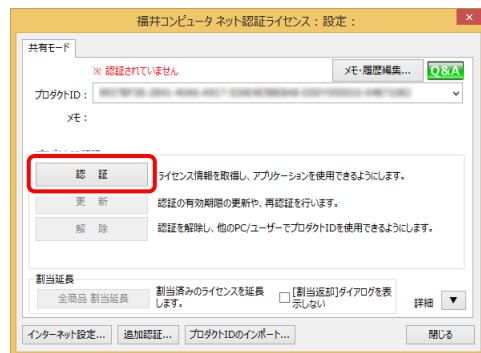
画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。



2. 「ネット認証ライセンス:設定」画面が表示されます。  
[解除]ボタンを押して、プロダクトIDを解除します。



3. そのまま続けて、[認証]ボタンを押します。



以上でライセンス情報の更新は完了です。  
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

## 3 ネット認証ライセンス(LAN) の更新

「ネット認証ライセンス(LAN)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

- ※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。
- ※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

### Step1 | ネット認証LANサーバーの更新

1. ネット認証ライセンス(LAN)のサーバーに、「インストールDVD」をセットします。



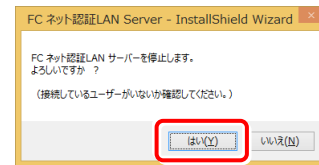
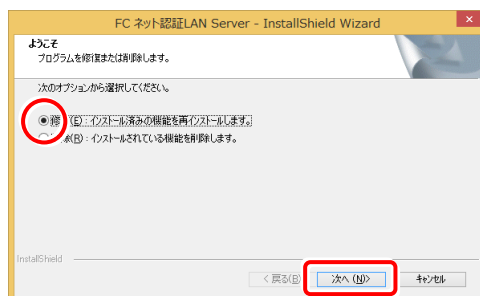
2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。



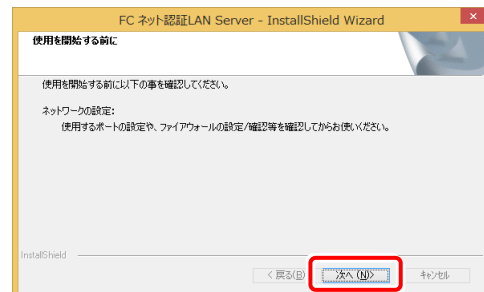
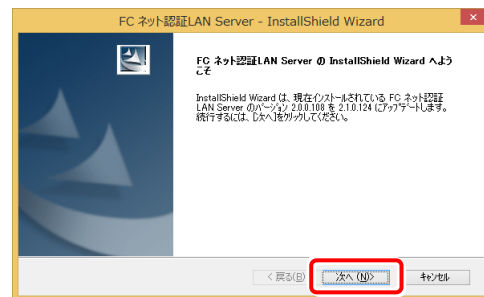
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーを更新します。

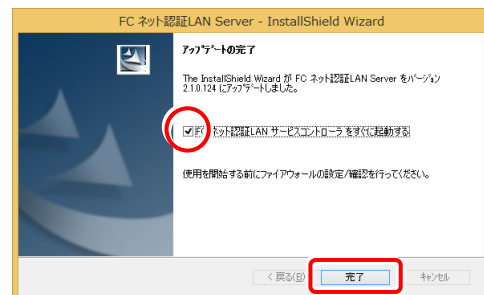
[修復]と[削除]の選択画面が表示された場合は、[修復]を選択してください。



※ 表示される画面は、異なる場合があります。



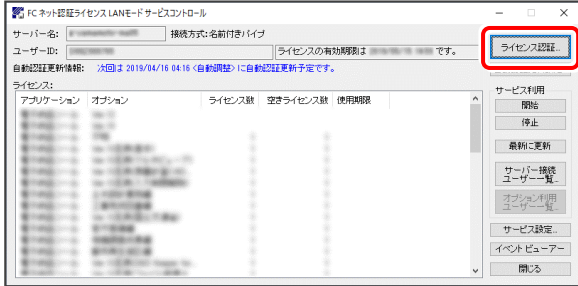
4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックボックスが表示された場合は、「オン」にして、[完了]を押します。



(次ページへ進みます)

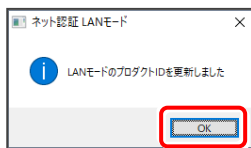
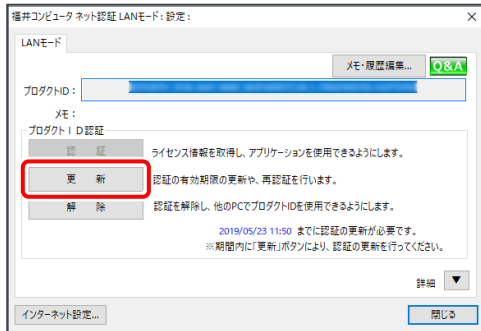
**Step2 | ライセンス情報の更新(サーバー)**

**1.** [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面から[ライセンス認証]を押します。

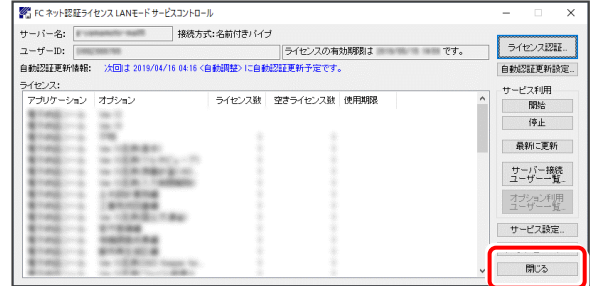


※ 上記画面が表示されていない場合は、  
**Windows11** : スタートメニューの「すべてのアプリ」  
**Windows10** : スタートメニュー  
**Windows8.1** : スタート画面の「アプリ画面」  
 から、[FC ネット認証LAN Server]—[FC ネット認証LAN サービスコントロール]を起動してください。

**2.** [更新]を押します。



**3.** ライセンス情報が更新されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でライセンス情報の更新は完了です。  
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.13へ

## 4 USBプロテクト【SNS-W】の書き換え

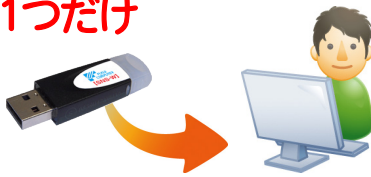
「USBプロテクト【SNS-W】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

※ ライセンス情報を書き換えないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。

### Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを、1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



(プロテクト書換CD)

3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「SNS-Wタイプ」をクリックします。



※ 表示される画面は異なる場合があります。

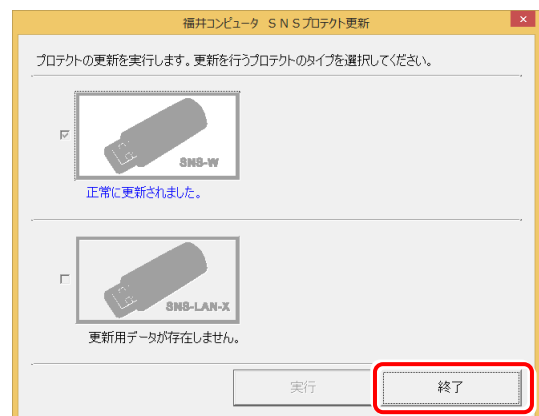
※ 上記画面が表示されない場合は、「プロテクト書換CD」内の [Install.exe] を実行してください。

4. [SNS-W]にチェックが入っている事を確認して、[実行] ボタンを押します。



※ 複数のUSBプロテクトをお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。  
必ず1つずつ書き換えてください。

5. 正常終了したら[終了]ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。



## 5 USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え

「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

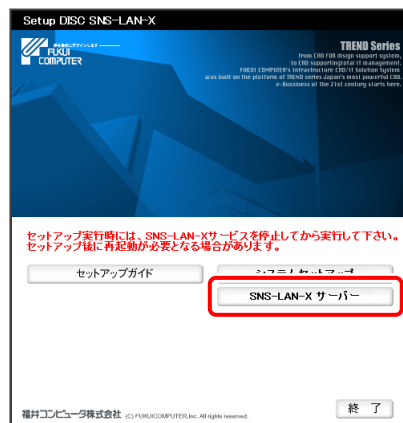
※ ライセンス情報を書き換えないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。

### Step1 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム)の更新

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバーに、送付された新しい「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をセットします。



2. [SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



メッセージにしたがって、プログラムとライセンスを更新します。

以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.13へ

#### 送付された「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください

サーバー入れ替えなどで、SNS-LAN-Xサーバー(ライセンス管理プログラム)の新規インストールが必要になった場合は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用して新規インストールします。

最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください。

## 6 プロテクト Q&A

Q.1

ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、どこかに資料はありますか？

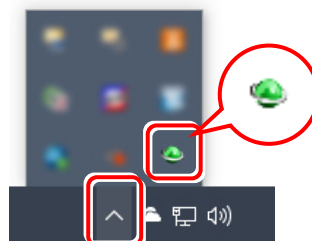
A.1

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面から、ネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。Q&A には、ネット認証ライセンスの機能や、お問い合わせのあった内容について記載されています。

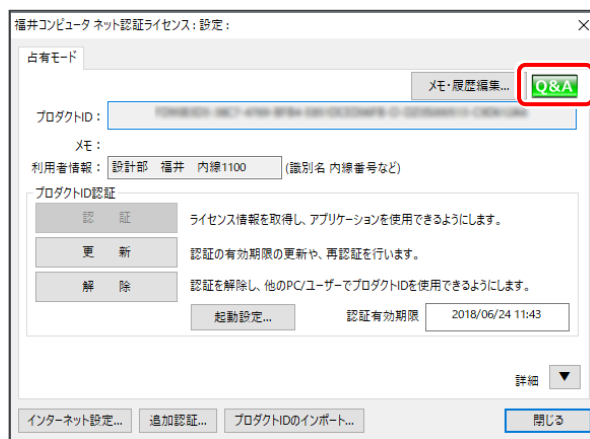
### 開き方

- 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

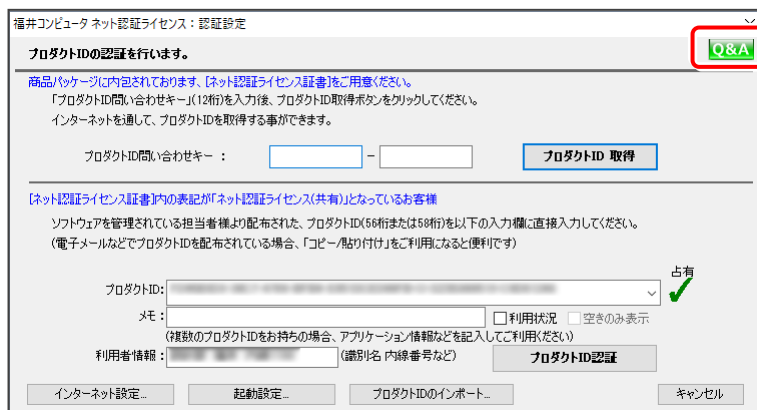


- ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。[Q&A] ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または

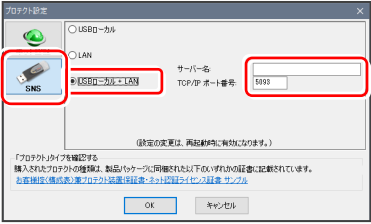


**Q.2**

プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。どうすればいいのでしょうか？

**A.2**

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。

<p><b>【ネット認証ライセンス(占有)】を使用</b></p> <p>[ネット認証] - [占有モード]を選択</p> 	<p><b>【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用</b></p> <p>[ネット認証] - [LANモード]を選択</p> 	<p><b>【ネット認証ライセンス(占有)】と【ネット認証ライセンス(LAN)】を併用</b></p> <p>[ネット認証] - [占有モード+LANモード]を選択</p> 
<p><b>【ネット認証ライセンス(共有)】を使用</b></p> <p>[ネット認証] - [共有モード]を選択</p> 	<p><b>【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名]に、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバーのコンピューター名を入力してください。</b></p> <p>モードが選択できない場合は、[ネット認証設定]ボタンを押して、ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証してください。</p> 	
<p><b>【SNS-W】を使用</b></p>  <p>[SNS] - [USBローカル]を選択</p> 	<p><b>【SNS-LAN-X】を使用</b></p>  <p>[SNS] - [LAN]を選択</p> 	<p><b>【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用</b></p>  <p>[SNS] - [USBローカル+LAN]を選択</p> 

**【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名]に【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバーのコンピューター名を入力してください。また[ポート番号]には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」の[オプション]で設定されたポート番号を入力してください。(11ページを参照)**

### Q.3

ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について教えてください。

### A.3

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」で管理します。

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス(LAN)」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows11 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニュー
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」

から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントロール」を実行してください。

The screenshot shows the main window of the 'FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール' application. It includes fields for server name, user ID, and license information. A table displays license details, and a control panel on the right allows for starting, stopping, and updating the service. A 'サービス設定' (Service Settings) dialog box is also shown, detailing connection and logging options.

**[サーバー名]**  
サーバーのコンピューター名が表示されます。

**[ユーザーID]**  
ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。

**[ライセンス数]**  
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

**[空きライセンス数]**  
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

**[サービス設定]**  
接続設定やログファイルを設定します。  
**[接続]タブ**  
接続プロトコルを設定します。  
**[動作ログ]タブ**  
使用されたアプリケーションの動作状況を記録します。  
**[使用状況ログ]タブ**  
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

**[ライセンス認証]**  
プロダクトIDの認証・更新などを行います。

**[自動更新設定]**  
認証の自動更新処理について設定します。

**[開始]**  
サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。

**[停止]**  
サービスを停止します。

**[最新に更新]**  
空きライセンスなどを最新の情報に更新します。

**[サーバー接続ユーザー一覧]**  
ライセンスを使用しているユーザーを確認します。

**[オプション利用ユーザー一覧]**  
選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

**[イベントビューアー]**  
Windows標準機能の「イベントビューアー」を開きます。ネット認証LANサーバーが動作しないときなど、サポートの対応時に使用します。

- [動作ログ]には、アプリケーションの動作状況が記録されます。使用するには、
  1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先フォルダーを設定します。
  2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」のサービスの開始時に、ログの取得が開始されます。
  3. サービスの停止時に、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証LAN動作ログ\_(日時).log です。
- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
  1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先フォルダーを設定します（[間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定）。
  2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
  3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
  4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

**Q.4**

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

**A.4**

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows11 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニュー
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」

から、「FC SNS-LAN-X Server」-「FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ」を実行してください。

The screenshot shows the main window of the 'FC SNS-LAN-X サービスコントロール' application. It features a top menu bar with '開始(S)', '停止(T)', '更新(P)', '接続ユーザ(U)...', and 'オプション(O)...'. Below the menu is a table with columns for 'アプリケーション', 'オプション', 'ライセンス数', and '空きライセンス数'. A '開じる' button is located in the top right corner. Callout boxes provide detailed explanations for these elements.

**[サーバ]**  
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピュータ名が表示されます。

**[ユーザID]**  
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

**[ライセンス数]**  
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

**[空きライセンス数]**  
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

**[開始]ボタン**  
サービスを開始します。SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

**[停止]ボタン**  
サービスを停止します。

**[更新]ボタン**  
表示されている情報を最新に更新します。

**[接続ユーザー]ボタン**  
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

**[オプション]ボタン**  
接続設定やログファイルを設定します。

**[接続]タブ**  
接続で使用するポート番号を設定します。

**[使用状況ログ]**  
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- [ポート番号]の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
  1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。(「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定)
  2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
  3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
  4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

## Q.5

「FCアカウント」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

## A.5

「FCアカウント」では、下記をはじめとした様々な機能がお使いいただけます。

- **製品のアップデート**

CAD製品のアップデートプログラムの提供やライセンスの更新、再セットアップ用ファイルのご提供などにご利用いただけます。

- **保守サポートサービスのご利用**

保守サポートサービス「FCメンバーシップ」のご契約情報確認・各種手続き・ご契約特典などの様々な機能をご利用いただけます。

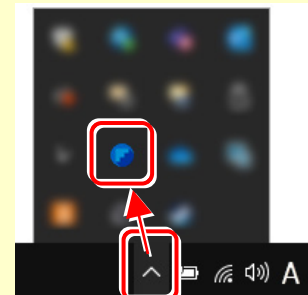
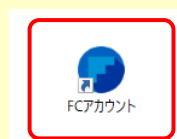


※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。

※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

### 「FCアカウント」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



# Mercury-ONE を バージョンアップします

バージョンアップ時には、プロテクトの更新または書き換えの後に、最新プログラムにバージョンアップします。

またフリーフォーマットの追加も必要です。

各ページを参照して、プログラムのバージョンアップをおこなってください。

1. インストール方法を確認します ..... 14
2. 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順 ..... 15
3. 「サーバークライアント（共同編集あり）」のバージョンアップ手順 ..... 18
4. 「サーバークライアント（共同編集なし）」のバージョンアップ手順 ..... 24
5. フリーフォーマットを追加します ..... 29



# 1 インストール方法を確認します

Mercury-ONE のインストール方法には、以下の3種類があります。  
現在ご使用中のインストール方法に合わせて、プログラムをバージョンアップしてください。

## スタンドアロン

すべてのファイルを、  
1台のコンピューター  
にインストールします。

1台のコンピューターで、  
現場データを編集します。

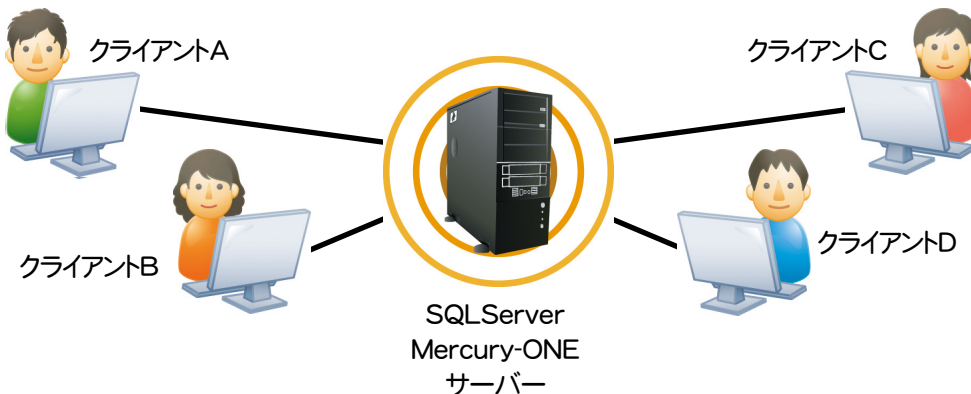


次ページへ

## サーバークライアント（共同編集あり）

現場データや設定ファイル  
をサーバーで管理します。

現場データを、複数のユーザーで  
同時に共同編集できます。

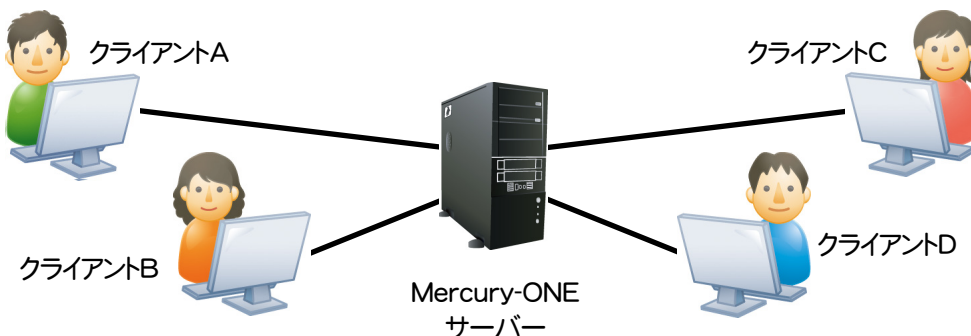


P.18へ

## サーバークライアント（共同編集なし）

現場データや設定ファイル  
をサーバーで管理します。

現場データの共同編集はできません。



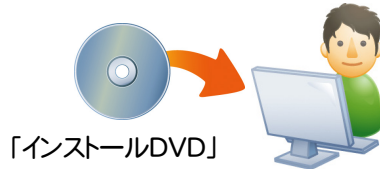
P.24へ



## 2 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順

「スタンドアロン」で使用中の Mercury-ONE をバージョンアップします。

### 1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



### 2. セットアップ画面の [Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

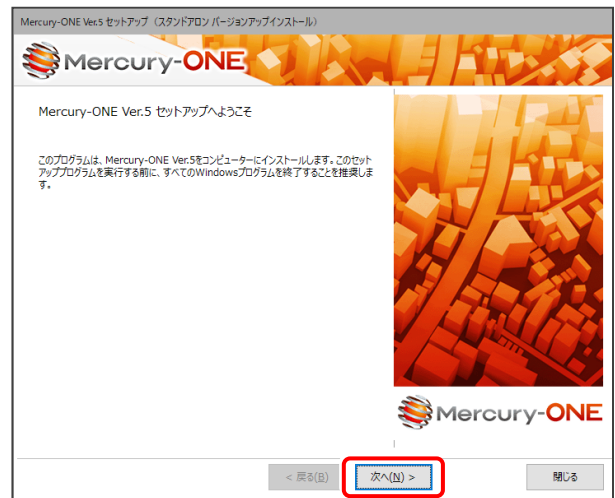
[スタンドアロン] タブを選択します。



### ① [Mercury-ONE] ボタンを押します。



### 3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



(次ページへ続きます)

[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



内容を確認して、[次へ]を押します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)を確認します。必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



必ず確認してください。

「プロテクト」タイプの初期値 は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、「プロテクト」タイプを変更するボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



【 ネット認証 】

- **【占有】**： ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
  - **【LAN】(※1)**： ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
  - **【占有 + LAN】(※1)**： ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
  - **【共有】**： ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- **【USBローカル】**： USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
  - **【LAN】(※2)**： USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
  - **【USBローカル + LAN】(※2)**： USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバー名を入力してください。

(次ページへ続きます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。  
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。  
確認を終えたら、[閉じる]を押します。  
再起動が必要な場合は、再起動してください。



#### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

P.29へ

### 3 「サーバークライアント (共同編集あり)」のバージョンアップ手順

「サーバークライアント (共同編集あり)」で使用中の Mercury-ONE をバージョンアップします。  
まずサーバーで「Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ」をおこないます。  
次にクライアントで「Step2 | Mercury-ONE クライアントのバージョンアップ」をおこないます。

## まず、サーバーをバージョンアップします

### Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の [Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント(共同編集あり)]タブを選択します。



[② Mercury-ONE サーバーインストール] ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

### 3. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、  
[次へ] ボタンを押します。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を  
選択します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[セットアップ開始]を押します。  
プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



#### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。



サーバーのバージョンアップは完了です。

続けてクライアントコンピューターのバージョンアップをおこないます。

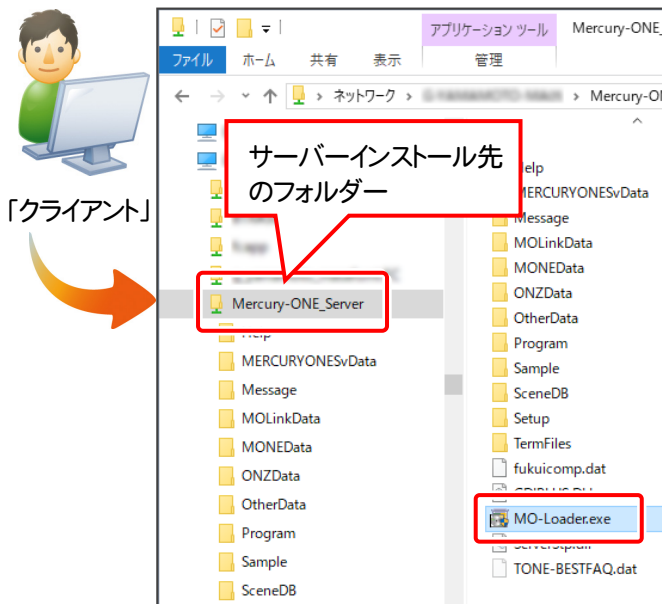
(次ページ「Step2」へ進みます)



## 次に、クライアントをバージョンアップします

Step2 | Mercury-ONE  
クライアントのバージョンアップ

1. クライアントで、「エクスプローラー」を開きます。  
「ネットワーク」からサーバーを選択して、  
「サーバーインストール先のフォルダー」にある  
「MO-Loader.exe」を実行します。



## クライアントとサーバーが、同一PCの場合は

上記手順と同様に、「エクスプローラー」の「ネットワーク」から自分のPCを開き、「サーバーインストール先のフォルダー」にある「MO-Loader.exe」を実行してください。

2. インストール環境の確認画面が表示されます。



すべての項目をチェックしてから、「次へ」ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

### 3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



内容を確認して、[次へ]を押します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)を確認します。必要があれば、変更してください。  
設定を終えたら、[次へ]を押します。



「プロテクト」タイプの初期値 は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、「[プロテクト]タイプを変更する」ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



#### 【 ネット認証 】

- **[占有]** : ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
  - **[LAN] (※1)** : ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
  - **[占有 + LAN] (※1)** : ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
  - **[共有]** : ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバー名を入力してください。

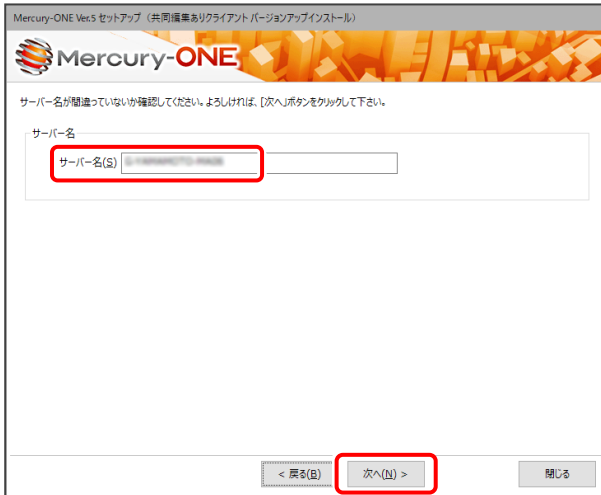
#### 【 SNS 】

- **[USBローカル]** : USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
  - **[LAN] (※2)** : USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
  - **[USBローカル + LAN] (※2)** : USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバー名を入力してください。

(次ページへ続きます)



サーバー名を確認して次へ進みます。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。  
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。  
確認を終えたら、[閉じる]を押します。  
再起動が必要な場合は、再起動してください。



#### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

P.29へ

# 4

## 「サーバークライアント（共同編集なし）」のバージョンアップ手順

「サーバークライアント（共同編集なし）」で使用中の Mercury-ONE をバージョンアップします。  
まずサーバーで「Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ」をおこないます。  
次にクライアントで「Step2 | Mercury-ONE クライアントのバージョンアップ」をおこないます。

### まず、サーバーをバージョンアップします

#### Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の [Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント（共同編集なし）]タブを選択します。

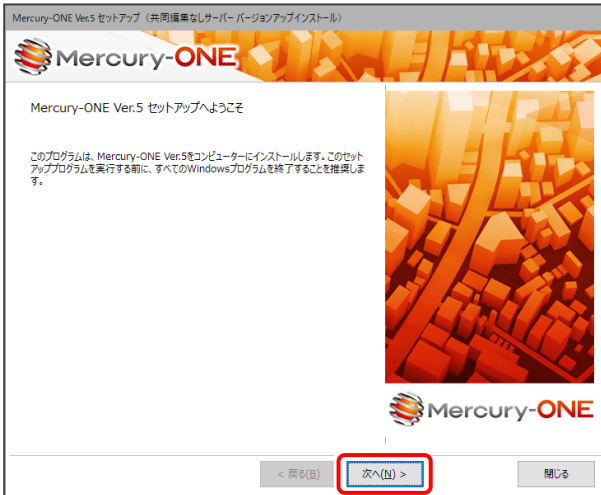


[① Mercury-ONE サーバーインストール] ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

### 3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



内容を確認して、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。  
プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



#### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。



サーバーのバージョンアップは完了です。

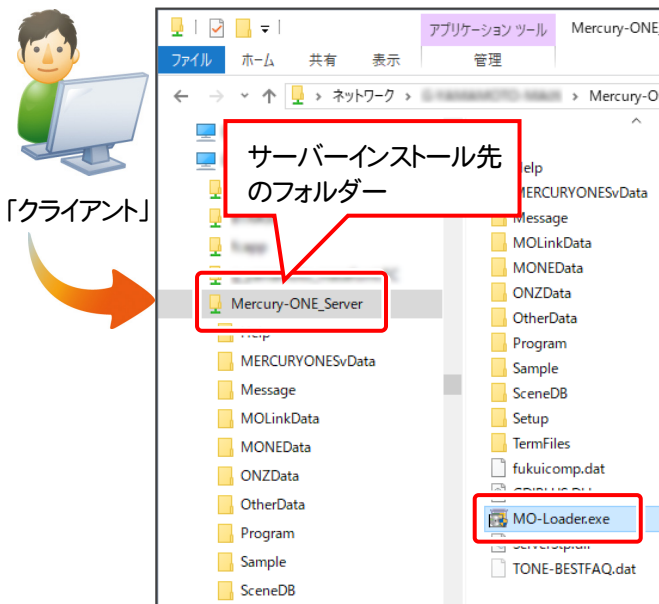
続けてクライアントコンピューターのバージョンアップをおこないます。

(次ページ「Step2」へ進みます)

## 次に、クライアントをバージョンアップします

Step2 | Mercury-ONE  
クライアントのバージョンアップ

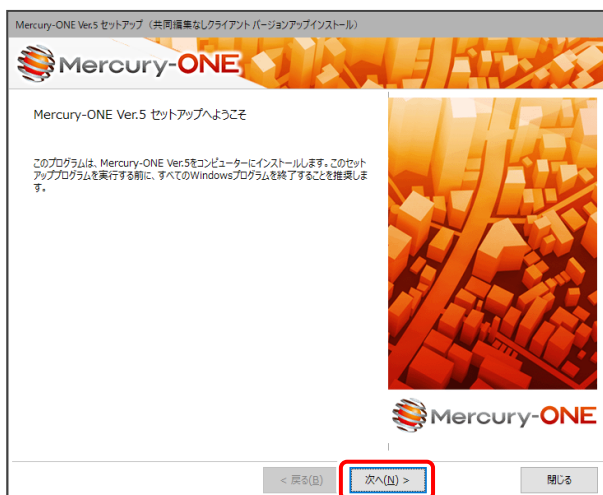
1. クライアントで、「エクスプローラー」を開きます。  
「ネットワーク」からサーバーを選択して、  
「サーバーインストール先のフォルダー」にある  
「MO-Loader.exe」を実行します。



## クライアントとサーバーが、同一PCの場合は

上記手順と同様に、「エクスプローラー」の「ネットワーク」から自分のPCを開き、「サーバーインストール先のフォルダー」にある「MO-Loader.exe」を実行してください。

2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



内容を確認して、「次へ」を押します。



(次ページへ続きます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）を確認します。必要があれば、変更してください。設定を終えたら、[次へ]を押します。



必ず確認してください。

「プロテクト」タイプの初期値は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、[「プロテクト」タイプを変更する]ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



【 ネット認証 】

- **【占有】**： ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
  - **【LAN】(※1)**： ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
  - **【占有 + LAN】(※1)**： ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
  - **【共有】**： ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、「FCネットワーク認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- **【USBローカル】**： USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
  - **【LAN】(※2)**： USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
  - **【USBローカル + LAN】(※2)**： USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバー名を入力してください。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

次ページへ



## 5 フリーフォーマットを追加します

プログラムのバージョンアップ時には、計算書・求積表フォーマットが追加されている場合があります。

**最後に、必ずフリーフォーマットの追加を実行してください。**

※ サーバークライアント(共同編集あり)(共同編集なし)の場合は、いずれか1台のクライアントで「フリーフォーマットの追加」をおこなえばOKです。このときサーバーのフリーフォーマットが追加されます。

### 1. Windows 11 の場合

[スタート]ボタン→「すべてのアプリ」  
- [FukuiComputerApplication]

### Windows 10 の場合

[スタート]ボタン  
- [FukuiComputerApplication]

### Windows 8.1 の場合

[スタート画面]→「アプリ画面」  
- [FukuiComputerApplication]

から

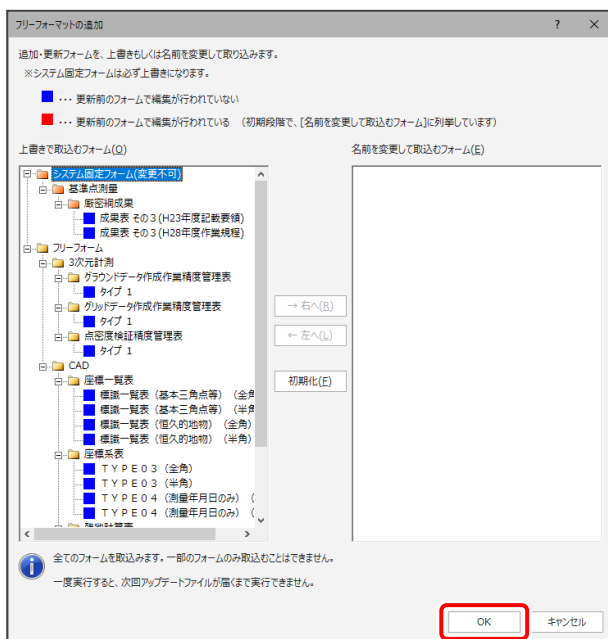
[Mercury-ONE Ver.5 フリーフォーマットの追加]  
を実行して下さい。

追加の必要が無い場合は、「既にフリーフォーマットデータは追加されています」と表示されます。

### 2. 追加フォームがある場合は、[フリーフォームの追加]

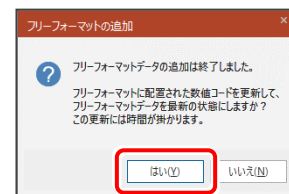
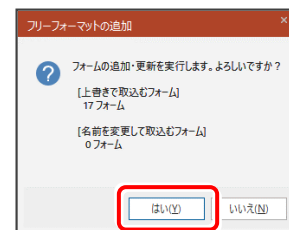
ダイアログが表示されます。

内容を確認して、[OK]をクリックします。

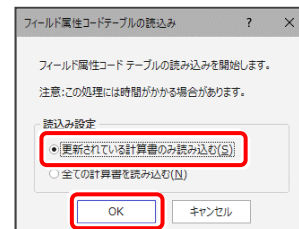


※ ダイアログの項目については、右上の[?]ボタンで表示されるヘルプを参照してください。

### 3. 表示されるメッセージにしたがって、処理を進めます。

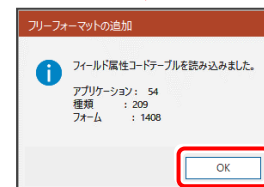


[更新されている計算書のみ読み込む]を選択して[OK]をクリックします。



処理時間は、環境によって異なりますが、1時間ぐらいかかる場合もあります。

その間、コンピューターのシャットダウン等は決しておこなわないでください。



以上で Mercury-ONE のバージョンアップは完了です。